

言語資源 利用申請書 兼 誓約書

特定非営利活動法人 言語資源協会 (GSK)

会長 橋田浩一 殿

言語資源「ICNALE-AS2R (ICNALE with Argumentative Structure and Sentence Reordering)」
(GSK2021-A) の利用を申請します。

言語資源を利用するに際し、下記の条件を遵守します。万一、下記条件に違反し、言語資源協会ならびに言語資源権利者、開発者等に損害を与えた場合、相当の賠償責任を負うものとします。

利用条件：

1. 配布を受けた言語資源は、教育・研究のみに使用すること。
2. 配布を受けた言語資源のすべてあるいは一部について、第三者に配布、貸与、刊行、売買など、これらに類する行為をしないこと。
3. 配布を受けた言語資源を使用して得られた知見に関する研究発表あるいは成果発表を行う場合、以下の出典情報を明記すること。
Ishikawa, S. (2013). The ICNALE and sophisticated contrastive interlanguage analysis of Asian learners of English. In S. Ishikawa (Ed.), *Learner corpus studies in Asia and the world*, 1 (pp. 91-118). Kobe, Japan: Kobe University.
4. 上記の場合、言語資源協会の要求があったときは、論文別刷り等を提出すること。
5. 利用を終了する場合には、配布を受けた言語資源を協会に返却または破棄すること。機器等へ複製したのも同様とすること。
6. <免責>配布を受けた言語資源の内容に関して、言語資源協会及び言語資源権利者・開発者に対していかなる保証も要求せず、本言語資源を格納した記録媒体や機器等、及び本言語資源の使用の結果によって発生する一切の直接もしくは間接的損害及び知的財産紛争について、言語資源協会及び言語資源権利者・開発者に対して責任を求めないこと。
7. <法令遵守>配布を受けた言語資源の使用に関し外国為替及び外国貿易管理法等、技術輸出に関する日本、米国及び関係国の全ての関係法規を遵守すること。
8. 下記の特記事項の趣旨を理解し、遵守すること。

特記事項：ICNALE-AS2R (ICNALE with Argumentative Structure and Sentence Reordering)

1. 本言語資源の配布を受けたものの氏名（団体の場合は団体名および利用代表者氏名）・所属・連絡先等について、言語資源協会が本言語資源の権利者に報告することに同意すること。
2. 本言語資源は、GSK 会員限定無料配布言語資源である。言語資源協会の会員は、年度内一件のみ、会員限定無料配布言語資源を無料で入手できる。年度内二件目以降にあたる場合は、一件につき 5,000 円（税・送料別）とする。非会員は、一件につき 30,000 円（送料込み、税別）とする。
3. 上記利用条件 3 の発表を行った場合には、速やかにその情報（著者名、論文タイトル、掲載誌名等必要な情報）を言語資源協会事務局に電子メール等で報告すること。
4. ICNALE の利用規約（下記 Terms of Use ）についても、当然、確認・理解し、遵守すること。

Terms of Use

By using the data offered by the ICNALE Development Team, you are agreeing to comply with the Terms of Use. Should you object to any term or condition contained herein, or any subsequent modifications hereto, or become dissatisfied with the ICNALE

data in any way, your only recourse is to immediately stop using the ICNALE. The ICNALE Development Team reserve the right, in our sole discretion, to change, modify or otherwise alter these Terms of Use. Such modifications will become effective immediately. You must review these Terms of Use on a regular basis to keep apprised of any changes that may affect you.

- (1) The ICNALE Development Team shall not be liable to the user for any trouble, damage or loss caused by his/her use of the ICNALE, regardless of the cause.
- (2) The ICNALE Development Team takes utmost care not to make any errors or omissions in providing the data and the information of the ICNALE, however they may include inaccurate contents, typographical errors, or improper information. The ICNALE Development Team shall not be liable for any such inaccuracy, incompleteness, inadequacy and the unfairness of the data and the information presented in the ICNALE.
- (3) The ICNALE Development Team makes no legal warranty or representation regarding the accuracy, completeness, adequacy and fairness of the data and the information of the ICNALE.
- (4) The data and the information of the ICNALE may be changed or modified without any prior notice, and the ICNALE Site may be discontinued or closed without any prior notice.
- (5) The ICNALE Development Team shall not be liable for any loss caused by the modification of the data and the information and also by the discontinuation or closing of the ICNALE Site, regardless of the reason.
- (6) It is prohibited to analyze the interviewer speeches included in the ICNALE Spoken Dialogue.
- (7) It is prohibited to reproduce and/or redistribute a part or the whole of the ICNALE data.

申請・誓約日：西暦 20 年 月 日	利用種別：個人／団体
利用目的： (例: ～に関する研究、～における教育)	
会員種別：個人会員／団体会員／非会員	会員番号：
価格種別：無料／有料／非会員有料	
(個人の場合)	
氏名（ふりがな）：	
E-mail：	電話番号：
送付先住所：(勤務先／自宅) 〒	
所属など：	
(団体の場合)	
団体名（ふりがな）：	
所在地：〒	
利用代表者氏名（ふりがな）：	
代表者の所属・役職：	
代表者 E-mail：	
連絡担当者氏名（ふりがな）：	
連絡担当者の所属・役職：	
連絡担当者 E-mail：	電話番号：
(署名・押印欄) 個人の場合は本人、団体の場合は代表者が署名・押印のこと	

※この「言語資源利用申請書兼誓約書」は、言語資源協会に送付するほか、写しを手元に残しておき、いつでも内容を確認できるようにしてください。

※利用種別、会員種別の記入に際しては、「会員種別と利用種別の個人・団体について」<https://www.gsk.or.jp/catalog/explanation> をご覧ください。

※団体は法人である必要はありません。どのような団体であるか、ご説明をお願いする場合がありますのでご了承ください。

※団体の代表者は利用団体としての責任者（部門であれば部門長、研究室であれば室長または責任者の先生等）をご記入ください。

※請求書の送付先・請求書の書類上の宛名等にご指定がある場合には、下記通信欄にご記入ください。ご指定のない場合は、申請者様（団体の場合は利用団体様）を宛名とした請求書を、申請者様（団体の場合は利用代表者様）宛てに郵送いたします。

※その他、何かご要望がありましたら、下記通信欄にご記入ください。

<通信欄>
